

# 宇宙科学予算について

平成25年9月19日

文部科学省

研究開発局

宇宙開発利用課

# 統合前後のISASの予算状況

## 統合前のISAS

### ○予算規模

※統合直前の平成14年度予算額

**約226億円**

#### プロジェクト経費の他

人件費 29億円

追跡管制設備維持等 8億円

光熱水料等維持管理費 8億円

合計 約45億円

**実質的予算規模 : 約180億円**

## JAXA・ISAS

### ○宇宙科学

(主にプロジェクト経費)

**予算規模: 約190億円**

(平成16年度～平成25年度の平均)

人件費、追跡管制設備維持、  
維持管理費等は別途措置  
(JAXA予算全体の中で措置)

イプシロン開発費 等

実質的な宇宙科学関連予算

# 宇宙科学予算に関する「一定規模の資金」の考え方について

## ○宇宙基本計画における、宇宙科学・宇宙探査プログラムに係る記載のポイント

- ・今後も一定規模の資金を確保し、世界最先端の成果を目指す
- ・ISASを中心とする理学・工学双方の学術コミュニティの英知を集結し、…ボトムアップの活力をそぐこと無く実施
- ・一定資金の確保に当たっては、科学の発展や衛星開発のスケジュールに柔軟な対応が必要

## JAXAにおける宇宙科学分野の予算推移

(単位：億円)

	FY15	FY16	FY17	FY18	FY19	FY20	FY21	FY22	FY23	FY24	FY25	各年度平均額
宇宙科学	217	199	215	260	198	151	171	203	142	182	142	189
JAXA運営費交付金 に占める上記経費の割合	15.1%	14.5%	16.4%	18.8%	15.3%	11.6%	12.2%	15.6%	11.6%	14.0%	13.0%	14.4%
運営費交付金	1,435	1,373	1,314	1,383	1,288	1,302	1,397	1,304	1,224	1,300	1,098	1,311

宇宙科学分野の平均約190億円



## ○「一定規模の資金」について、当面以下を目安とするのが一案

- ・原則、年度当たり190億円程度
- ・但し、弾力性を持たせる観点から、中期目標期間の総額の範囲内において、各年度の資金の増減を調整（すなわち、5年で約950億円が目安）

# 平成26年度概算要求等の状況

(単位:百万円)

	FY21	FY22	FY23	FY24	FY25	FY26要求
宇宙科学	17,083	20,291	14,164	18,220	14,246	24,414
月周回衛星(SELENE)	772	498	201	0	0	0
第24号科学衛星(PLANET-C)	6,063	9,709	0	0	0	0
Bepi Colombo	2,010	1,810	2,993	2,993	644	541
第25号科学衛星(ASTRO-G)	817	0	0	0	0	0
小型科学衛星(SPRINT-A、ERG)	200	400	463	3,744	2,601	6,657
第26号科学衛星(ASTRO-H)	25	100	3,008	3,670	3,670	9,535
衛星運用	1,548	1,548	1,699	1,667	1,651	1,786
宇宙科学施設維持	2,157	2,066	2,227	2,645	2,115	2,251
学術研究・観測ロケット実験等	3,491	4,159	3,574	3,501	3,565	3,644